

地球のいのち、つないでいこう ～5月22日は国際生物多様性の日～

問い合わせ 環境課 環境保全係(☎内線308)



生物多様性って？



地球上のいきものは、40億年という長い歴史の中でさまざまな環境に適応して進化してきました。今、地球上には3千万種類ものいきものがあるとされており、いろいろな場所でお互いにバランスを保って生きています。

しかし、気候変動やインフラ整備など人間の活動によっていきものすみかが失われ、バランスが崩れつつあります。その結果、いきものたちの絶滅スピードを自然状態の千倍に加速させています。

生物多様性が失われると…



私たちが食べているものはすべていきものであり、着ている服も多くがいきものから作られています。生きていくのに必要な酸素も森の木々から生まれ、私たちの生活は自然の恵みから成り立っています。生物多様性が失われると私たちは生きていけません。



私たちにできること



まずは、身近にどんないきものがいるか探しに出かけてみましょう！ 川の中にはどんないきものがあるでしょうか？ 近くに咲いている花は？ それに集まるチョウや虫たちはどんないきものでしょうか？

いきものも季節によって現れたり、その季節にしかない行動があったりと知れば知るほどおもしろいかも!?

自然ふれあい観察会

福岡県筑紫保健福祉環境事務所などと協働して毎年自然ふれあい観察会を実施しています。

昨年度は3月21日(休)に太宰府市民の森で開催しました。森の中の6カ所に設置されたいきものクイズを解きながら、春のいきものを見つけたり触れたりして楽しみました。



移動自然博物館

まほろば自然学校、太宰府ワイルドライフリサーチの協力のもと市内の小学校などが期間限定で博物館に変わります。

市内に生息する身近ないきものなどの標本や写真を展示したり、顕微鏡でいきものを観察したり、イノシシの頭蓋骨やミシシippiacカミガメの骨を触ったり、生きているヒキガエルやその卵を触ったり、校内にある木や植物のにおいをかいだりと、実際に見て、触れていきものについて五感で学ぶ博物館です。

昨年度は、水城小学校と太宰府西小学校で実施しました。まほろば自然学校の岩熊先生を講師に生物多様性をテーマに授業を行い、私たち人間を含めいきものたちは支えあって生きることが、いのちのつながりがあることを楽しく学びました。



参考：みんなで学ぶ、みんなで守る生物多様性（環境省ホームページ）

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/index.html> 自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「イキトモ」